

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 1119

事業名	島外選手派遣補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	学校教育課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3018			項	
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務			目	教育振興費・2目
南あわじ市総合計画 施策体系	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		南あわじ市小中学校選手派遣費補助金交付要綱		
	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり_			
	まちづくりの目標	一人ひとりが明日を拓くリーダー【教育】			
	施策目標	子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能力を身につける機会を提供する			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業		業務委託	負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 広域大会に選手として参加する児童・生徒及び保護者 対象人数(人) 4,514	
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 経費の一部を補助することにより、参加者並びに保護者の負担軽減を図り、もってスポーツ・文化の振興と体力並びに技術の向上に寄与することを目的とする。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 大会等の会場が淡路島外の場合、基準に基づき積算された交通費及び宿泊費の合計額を補助金として支給する(ただし、引率教員等の交通費及び宿泊費はこれに含まない)。 なお、交通費のうち、貸切バスにより参加する場合は、公共交通機関での参加経費と比較し安価な方の額とし、宿泊費の宿泊単価は、1泊につき6,000円を上限とする。	
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 保護者にとって、我が子がクラブ活動で活躍したり、人間的な成長をするというのは喜ばしいことであるが、反面、活動すればするほど金銭的な負担が大きい。児童生徒が健全な発育のなかで必要な活動を金銭的に援助するということで、中学校体育連盟が主催の大会、各競技連盟が主催の大会への参加に係る経費の一部を負担している。	
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()	
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
	合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 合併前から各町で行われていた事業である。町によってはこのほかに教育振興費の需用費にクラブ活動分を上乗せしていた町やクラブ活動補助金を支給していた町もあったが、保護者にとっては大会参加の交通費の負担がもっとも大きいことから、島内大会のバス借上料とこの島外大会選手派遣補助金にしぼり事業を行うこととした。	

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	島外開催の公式大会に参加した件数と補助金を交付した件数			指標単位 件
	指標説明 (指標算出方法等)	島外開催の公式大会に参加した件数と補助金を交付した件数			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	42	57	50	50
	実績値	42	57	50	
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-
目標値設定の考え方	島外開催の公式大会に参加した件数と補助金を交付した件数				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	島外開催の公式大会に参加した件数と補助金を交付した件数			指標単位 件
	指標説明 (指標算出方法等)	島外開催の公式大会に参加した件数と補助金を交付した件数			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	42	57	50	50
	実績値	42	57	50	
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-
目標値設定の考え方	島外開催の公式大会に参加した件数と補助金を交付した件数				
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事業費 (千円)	3,651	3,584	4,462	3,300
	負担金補助及び交付金	3,651	3,584	4,462	3,300
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	3,651	3,584	4,462	3,300
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
事業量2(事業に要した人数)					
年間経費([A]+[B])	3,651	3,584	4,462	3,300	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	0.8	0.8	1.0	0.7	
受益者人数(4,514)1人当り経費(千円)	0.8	0.8	1.0	0.7	
経費に関する補足説明					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		%	100.0	100.0	100.0	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 平成18年度は島内大会の成績がよい学校が多く、県大会への参加が多かった。							自己評価 (5点評価)
							4
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		%	100.0	100.0	100.0	-	
	成果向上率	%	-	35.7	12.3	-	
(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) クラブ活動は学校の活性化に欠かせないものであり、クラブ活動には保護者の協力も欠かせない。保護者の負担を何らかの形で軽減するためにもこの事業は必要であると考えられる。							自己評価 (5点評価)
							4
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		千円	86.9	62.9	89.2	-	
	効率性増減率	%	-	27.7	41.9	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 島外の公式大会すべてに全額負担をしている訳ではなく、大会を主催する団体、参加人数に上限を設けて、補助金を交付している。							自己評価 (5点評価)
							4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) この事業によって、島外大会に参加する際の保護者の負担はある程度軽減されており、またこのことでクラブ活動が活発になるので、市で行う必要性は感じられる。						
							4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<div data-bbox="821 1473 1388 2029" data-label="Figure"> <p>評価グラフ</p> </div>				
	合併前はこの事業以外にクラブ活動に対する経費を何らかの形で交付している町もあった中、合併後、クラブ活動に対する負担が多少増加している。そういった状態においてこの事業の継続は必要不可欠である。						

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	学校教育活動の一環としてスポーツ活動や文化活動に共通の興味や関心を持つ生徒が教員等の指導の下、自発的・自主的に行うクラブ活動の成果の発表する場としての対外試合（公式試合）へ参加するための経費助成であり、各学校で調整するなど経費節減に努めた上で、継続実施が必要と思われる。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 児童生徒のクラブ活動等に係る保護者の金銭的な負担が大きくなるだけでなく、経費を節減しようと保護者や教職員が送迎をすることになりかねない。これは交通安全の面からも好ましいことではないので、今の状態で続ける必要がある。	